



風は海から

令和8年5月29日
令和8年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより6月号

紫陽花（あじさい）の花に想うこと

横浜市立西富岡小学校
校長 武士 雅子

木々の緑がいっそうまぶしく感じられる季節となりました。旧暦で六月は「水無月（みなづき）」と呼ばれます。雨が多く降る時期でありながら「水が無い月」と書くのは、「無」が「の」を意味し、「水の月」という由来があるとされています。まもなく梅雨を迎え、しっとりとした空気に包まれる日々が始まります。

この季節になると、よりいっそう美しさを増すのが紫陽花です。学校の正門から校舎へ向かう通路脇でも、紫陽花が静かに育っています。今はまだ小さな緑のつぼみですが、これから少しずつ色づき、姿を変えていく様子を思うと、今から楽しみでなりません。

紫陽花は、その色の移ろいから「七変化」とも呼ばれます。私が中学生の頃に「紫陽花は土によって色が変わる花なのです」と教えてくださった恩師の言葉を、今でもよく覚えています。土の性質や環境によって、それぞれに異なる色の花を咲かせる紫陽花。その姿は、とても奥深く、魅力的です。

通路脇で見たあの小さなつぼみは、西富岡小学校の子どもたちの姿と重なります。子どもたちは、家庭や地域、そして学校でのさまざまな経験を通して、たくさんのことを感じ、学びながら成長していきます。そして一人ひとりが、自分らしい色で花開いていきます。その多様な色が集まることで、まるで丸く咲く紫陽花のように、豊かな個性あふれる学級や学年、そして学校が形づくられていくのだと感じています。

新学期が始まり、早くも二か月が過ぎようとしています。大きなランドセルを背負って登校していた一年生の姿も、どこかたくましく見えるようになってきました。さわやかなあいさつができる子、友だちにやさしく寄り添う子、自分から声をかける子、授業に真剣に向かう子、運動に全力で取り組む子——それぞれの場面で、子どもたちの確かな成長が見られ、うれしく思っています。

これからの梅雨の時期は、気候の変化とともに、心や体に疲れがたまりやすくなる時期でもあります。学校では、子ども一人ひとりと丁寧に向き合い、その思いに寄り添いながら、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

